

2025年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日 2025年 4月 10日

地方部会名	埼玉県地方部会
代表者名	会長 菅澤 正
活動のタイトル	県との協力による「きこえ」についての啓発活動（「耳の日」記念のつどい講演会）
アピールポイント	県と「耳の日」記念のつどい講演会を共催し、実地開催を行った。 医師の講演に加え、補聴器・人工内耳装用者の体験談、厚生労働省職員による国の施策説明と内容を充実させ、講演後は補聴器等きこえに関する無料相談会を開催した。同時に人口内耳・補聴器の展示も行った。
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	活動内容と波及効果（400字から600字程度で記入してください。） ・第54回「耳の日」記念のつどい講演会（兼・日耳鼻埼玉県地方部会耳鼻咽喉科月間市民公開講座） 「～『きこえ』することで認知症を予防～」を以下のとおり開催した。 日時 令和7年3月2日（日）13時～ 場所 埼玉県県民健康センター2階大ホール、1階大会議室AB ①『「きこえ」のしくみ 難聴はどのようにしておこる？』 埼玉医大総合医療センター 耳鼻咽喉科 講師 田中 是 ②『「きこえ」をとりもどす 難聴の治療と認知症の関係について』 獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授 穂吉 亮平 ③「補聴器の装用～『きこえ』ると世界が変わる～」 補聴器装用者（一般の方） ④「高度難聴に対する人工内耳の装用～生活に色がでてきた～」 人工内耳装用者（一般の方） ⑤「難聴対策に関する国の取組状況」 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 主査 鈴木 偲歩 現地参加者数 約250名 講演後に「きこえの無料相談会」を実施。 認定補聴器技能者や補聴器相談医等がお話を伺い、耳鼻咽喉科医の早期受診へとつなげるような対応を行った。 相談者数 約40名 ①・②の講演では、難聴や補聴器・人工内耳に詳しい若手の先生をお招きし、AGジャパンの広告にも触れながら難聴の原因や、認知症とのつながりについて解説いただいた。 ③・④の体験発表では、実際に補聴器・人工内耳を装用している方から、装用前後の生活の変化や、その感想や反省（もっと早く耳鼻科を受診していればよかったなど）をお話しいただいた。 ⑤の行政説明では、日耳鼻が推進している施策に触れながら、国としてどういったバックアップを行っているか、今後の方針も含めて包括的にご説明いただいた。 ・周知用のチラシ（別添1－1）、ポスター（別添1－2）を作成。埼玉県福祉部障害者福祉推進課に協力してもらい県庁舎内及び各市町村役場、社会福祉協議会、障害者施設等にポスターを掲示した。併せて県内医療機関にも掲示し開催を周知した。また、対象が高齢者メインと予想されたため、県及びさいたま市の協力のもと郵便局へのチラシ配架や、県及び市の広報誌、生協のミニコミ誌へ情報掲載を依頼した。 ・郵便局へのチラシ配架を行ったところ、それを見た読売新聞記者により、周知の記事が掲載された。 ・開催地近隣のJR大宮駅と浦和駅にそれぞれB1サイズのポスターを2週間掲示し、難聴や認知症に関心のある方の集客活動を行った。（別添2） ・当日、指定会場内が満席となったため1階へ中継会場を用意し、映像と音声の中継を行った。（別添3） ・当日の講演動画をYouTubeで公開（字幕準備中、 https://www.youtube.com/@saitama_jibika ）。ポスター及びパンフレットに地方部会HPのQRコードを記載し周知した。 ・当日はテレビ埼玉による取材が入り、同日の夕方その様子が放映された。（別添4）

第54回

「耳の日」記念のつとよい講演会 ～「きこえ」することで認知症を予防～

定員150名

参加費無料！

事前申込不要！

日時

3月2日(日) 12:30開場

場所

県民健康センター 2階大ホール

(さいたま市浦和区仲町3-5-1)

講演

13:00～

「きこえ」のしくみ 難聴はどのようにしておこる？

埼玉医科大学総合医療センター
耳鼻咽喉科 講師

た なか すなお
田中 是 先生



「きこえ」をとりもどす 難聴の治療と認知症との関係

獨協医科大学埼玉医療センター
耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授

あき よし りょう へい
穂吉 亮平 先生



講話：人工内耳・補聴器 装用者の体験談

講話：難聴に対する国の施策について

相談会

15:00～

「きこえの無料相談会」実施！

耳鼻咽喉科専門医等が相談に応じます。
定員30名、当日12:30～受付(先着順)

HPも要チェック！

日耳鼻埼玉県地方部会
埼玉県耳鼻咽喉科医会



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

問合せ

埼玉県 福祉部 障害者福祉推進課
☎048-830-3315 📠048-830-4789
✉a3300-05@pref.saitama.lg.jp

主催 | 埼玉県、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会埼玉県地方部会・埼玉県耳鼻咽喉科医会
後援 | 埼玉県医師会、埼玉県言語聴覚士会、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会、
埼玉県教育委員会、さいたま市

第54回

「耳の日」記念のつとよい講演会

～「きこえ」ることで認知症を予防～

講演

13:00～

「きこえ」のしくみ 難聴はどのようにしておこる？

埼玉医科大学総合医療センター
耳鼻咽喉科 講師

た なか すなお
田中 是 先生



「きこえ」をとりもどす 難聴の治療と認知症との関係

獨協医科大学埼玉医療センター
耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授

あき よし りょう へい
穂吉 亮平 先生



人工内耳・補聴器 装用者の体験談（一般の方2名による講話）
難聴に対する国の施策について（厚生労働省の方による講話）

15:00～

「きこえの無料相談会」実施！

耳鼻咽喉科専門医等が相談に応じます。
（当日12:30～先着順で受付、定員30名）

最新情報はHPで！

日耳鼻埼玉県地方会
埼玉県耳鼻咽喉科医会



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

日時 2025年3月2日(日)

13:00～16:00（12:30開場予定）

場所 県民健康センター 2階大ホール
（さいたま市浦和区仲町3-5-1）



問合せ

埼玉県 福祉部 障害者福祉推進課
☎048-830-3315 📠048-830-4789
✉a3300-05@pref.saitama.lg.jp

主催 | 埼玉県、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会埼玉県地方部会・埼玉県耳鼻咽喉科医会
後援 | 埼玉県医師会、埼玉県言語聴覚士会、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
埼玉県教育委員会、さいたま市

R7.3.2 「耳の日」記念のつどい講演会 広報について

駅広告



大宮駅

浦和駅



R7.3.2 「耳の日」記念のつどい講演会 当日の様子



↑ 1階への中継

↓ きこえの無料相談会



↑ ↓ 講演時の様子



キーワードを入力 | Q

マイページ

購入履歴



トップ

速報

ライブ

エキスパート

オリジナル

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

トピックス一覧

3月3日は「耳の日」 聴覚障害に理解深めるイベント／埼玉県

3/2(日) 18:03 配信



3月3日は、「耳の日」でもあります。さいたま市浦和区では聴覚障害者への理解を深めてもらおうというイベントが開かれました。

「耳の日」は**日本耳鼻咽喉科学会**が耳や聴力への関心を高めようと、3月3日を「みみ」の語呂にちなんで1956年に制定しました。

2日は「耳の日」を記念した毎年恒例のイベントが開かれ、およそ150人が参加しました。

会場では**埼玉医科大学総合医療センター**の田中是講師が、外耳や中耳、内耳といった耳の部位によって難聴が起こる仕組みや症状、解決方法が違うことなどを紹介しました。

また、**獨協医科大学埼玉医療センター**の穂吉亮平准教授は、**認知症**のリスク要因として難聴が最も密接な関係があるとしたうえで、難聴の早期発見や改善が認知症の予防につながると説明しました。

このほか、実際に補聴器や**人工内耳**を身に付けている人が登壇し、器具のおかげで音が聞こえるようになり、自信を持って外出できるようになったことなど、体験談を話しました。

参加した人たちは、真剣な表情で話に耳を傾け、聴覚に障害がある人への理解を深めていました。

🕒 記事に関する報告

この記事はいかがでしたか？
リアクションで支援しよう



最終更新: 3/2(日) 18:03

テレ玉

広告 X
BIZ REACH

採用ご担当者様へ

年収 **500万円**

以上の即戦力人材を

2名採用

したときのコストはこちら

ベスト エキスパート 2025決定

Yahoo!ニュースでもっとも活躍した専門家は？

アクセスランキング（関東）

- 1 **【地震情報】** 埼玉で半日に2度の揺れ 首都圏で地震続く 3日午後、群馬県南部でM4・2 昨夜は埼玉県南部でM3・1

埼玉新聞 3/3(月) 13:50



こんな記事も読まれています